

HIC通信

Hiroshima International Center

Vol. 87
January 2015

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひします。

ひろしま国際交流サミット研究会「Let's talk about HIROSHIMA ～みんなで話す みんなの広島～」を開催しました。

ひろしま国際センターは、NPO法人ひろしまジン大学との共催で、ひろしま国際交流サミット研究会ワークショップ「Let's talk about HIROSHIMA ～みんなで話す みんなの広島～」を12月7日(日)に開催しました。

このワークショップは、広島に暮らす世代、性別、国籍もさまざまな方にお集まりいただき、「広島を世界の誰もが住みやすいまちにするために」をテーマに、参加者の皆さまで意見やアイデアを出し合うことで多文化共生への理解を深めるとともに、広島の未来や新たなプロジェクトなどについて考えるきっかけの場を作ることを目的としています。

当日は、ひろしまジン大学の平尾氏の進行のもと、参加者の皆さまが自ら提案した「全員英語ペラペラの街 広島」などを含む8つのアイデアについて語り合いました。提案者のアイデアについて、この会ではじめて出会った者同士が語り合うことで、さまざまな意見や考えが加わり、具体的な意見やプロジェクトのヒントに発展していました。最後に、提案者の方に議論した内容を発表していただき、閉会となりました。閉会後も、参加者同士で連絡先を交換したり、各々の活動について語り合うなど交流が続いていました。



◆目次

- 2面 交流部だより
- 6面 國際プラザニュース
- 8面 こちらJICAデスク
- 9面 サミット加盟団体だより

- 10面 Upcoming Events News
- 11面 Hello Hiroshima
- 12面 Hiroshima Calendar ほか

交流部だより

今回、参加者の皆さまが語り合ったことやアイデア、ネットワークをこの会限りのものにせず、次の活動に繋げていただきたいと思います。また、ひろしま国際センターとしましても、ここで出たご意見やアイデアを参考にさせていただき、ひろしまを世界の誰もが住みやすいまちにするために力を尽くしていきたいと思います。（河岡）



会のオリエンテーション



はじめて出会った者同士で語り合う



提案者による発表

「地球の食卓」～食を通して世界を学ぼう～を開催します！

受講者募集中

日 時 平成27年2月15日(日) 11時～14時
場 所 ガストピアセンター 5階(広島市中区南竹屋町1-30)
講 師 開発教育協会DEAR 八木 亜紀子さん

内 容 ☆ワークショップ「地球の食卓」 ☆外国料理の調理と試食

世界の食料事情を学んで自分に出来ることを考えてみませんか？

外国人の人たちと一緒に料理を作って、食べて語り合いましょう！

○募集人員 約30名

○参加料 無料



申込み方法

申込み講座名及び日時、氏名、年齢、住所、連絡先（TEL、Eメール）を明記のうえ、Eメール、FAX、郵送、窓口にてお申込みください。

申込先

(公財)ひろしま国際センター 担当：木村
〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階
TEL：(082)541-3777 FAX：(082)243-2001
E-mail：hic17@hiroshima-ic.or.jp

また、平成27年2月21日(土)には、講師に広島県立大学教授 富田 和広先生をお迎えして、平成26年度グローバル人財養成講座としてワークショップを開催します。詳細決定後、ホームページ等に案内しますので、こちらも奮ってご参加ください！

場 所 ひろしま国際センター 交流ホール 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階
募集人員 約30名
参加料 無料 ※予定

交流部だより

「国際交流・協力の日2014」に出展しました

11月16日(日)に広島国際会議場(広島市中区)で開催された「国際交流・協力の日2014」で、「地球ひろば」に 出展しました。このイベントは、「学び」を基調として、子供から大人までみんなに、楽しみながら外国文化に触れ、興味を持っていただくことが目的です。

当センターは、「地球ひろば」の「ともだちひろば」コーナーを担当し、世界で一番のものがある国についてのクイズや外国人とのフリートークを楽しんでいただきました。昨年度に比べ、体験型のイベントを多く準備したため、前年度を上回る530名の方々にご来場いただき、大盛況のもと幕を閉じることができました。これも、参加いただいた多数の皆さまのおかげと感謝いたします。来年はさらに楽しいイベントを企画していきたいと思います。(河岡)



みんなでザンビアの遊び



パラグアイポルカに挑戦



アフリカの布でしおりづくり



ともだちひろばの様子

外国人の方とお話ししてみようコーナー 来場者の感想

- ・(スペイン語)すごく早口でびっくりしました。でも Hola!(オラ:やあ。 こんにちは。)は覚えました。
- ・(ベトナム語)挨拶を教えてもらいました。(お子さん)
- ・(中国語)日本で一番おいしいと思う食べ物が身近な日本のスナック菓子だと聞いて、意外に思うと共に親近感を感じました。

ボランティアの方より

- ・皆さんから広島のおすすめ観光地、グルメ情報を紹介してもらいました。楽しかったです!! (外国人ボランティア)
- ・あっという間に時間が経ちました。たくさんの方とお会いできてよかったです。(日本人ボランティア)

留学生奨学金 第2回交流会を開催しました

奨学金の支給者と協賛企業・団体との交流の促進を目的として、年2回交流会を開催しており、11月26日(水)に第2回交流会を行いました。

この交流会に先立ち、渡日等留学生支援に係る奨学金(後期)の支給者8名に奨学金決定通知書の授与を行いました。続いて開催された交流会では、留学生、協賛企業・団体の関係者及び大学関係者の皆様 合わせて100名を超える参加者が一堂に会し、これまでの学生生活で取り組んだこと、奨学金をどのように役立てているか等を語り、懇親を深めました。

協賛企業の参加者からは、「早く自分の強みを見つけ出し、それを伸ばす努力をして、日本のためだけでなく世界で活躍できる人材になっていただきたい」と励ましの言葉をいただきました。また、広島大学大学院文学研究科の海阿虎さんに馬頭琴の演奏を披露していただきました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



「平成26年度多文化共生担当職員 第2回テーマ別研修会」を開催

10月7日(火)に多文化共生担当職員 第2回テーマ別研修会を開催しました。

第1部では、「外国人技能実習生の受け入れと受け入れ後のコミュニケーションについて」とし、実際に中国人の外国人技能実習生を受け入れされ、世羅郡世羅町で縫製業を経営されている「有限会社クリエイト 代表取締役 福本 春二さん」を講師に迎えました。外国人技能実習生を受け入れするまでの過程や仕組み、また外国人技能実習生とのコミュニケーションをされているのか、受入企業の視点から外国人技能実習制度の実態について講演いただきました。

また第2部では、「新しい在留管理制度の概要と外国人技能実習制度」について、当センターの外国人相談窓口で在留資格の専門相談員をされている「NPO法人ビザサポートセンター広島」理事長 益田 浩司さんに講師をしていただきました。新しい在留管理制度では、主な改正点や市町の住民課等の窓口で知っておくべき事項や、今後外国人が手続きを失念しやすい事項について、また外国人技能実習生の受入までの仕組みや受入後の講習などについて講演いただきました。

研修会には、32名の市町職員の方が参加され、「外国人技能実習生を実際に受け入れされている企業の方からの話を聞くことは、貴重な体験だった」「在留カードの切替期限が来年の7月であることよりもっと周知していきたい」などのご意見をいただきました。

今後、外国人技能実習生の増加が見込まれますが、私達の普段の生活の中で見かける外国人も隣人としてコミュニケーションしていくことが重要だと感じました。(大藤)



「平成26年度相談員等ネットワーク構築研修会を開催しました」

11月14日(金)と15日(土)に「平成26年度 相談員等ネットワーク構築研修会」をひろしま国際プラザ(東広島市)にて開催しました。

この研修会は、県内の外国人相談窓口に従事されている相談員の方や行政の担当職員を対象に地域を超えた相談員間のネットワークを構築する目的で実施している研修会で、平成25年度より開催しています。

14日(金)は、東北大学大学院 教育学研究科 臨床心理士の一條 玲香さんを講師に迎え、「外国人相談ストレスとストレスケア」について講演をしていただきました。一條さんからは、外国人相談の相談員はどのようなストレスを抱えることが多いのか、またそのストレスのケアの仕方など臨床心理士としての立場からアドバイスをいただきました。

また翌15日には、岡山県総社市 市民環境部 人権・まちづくり課 国際・交流推進係 多文化共生推進員の譚 俊偉さんにゲストスピーカーとしてご参加いただきました。譚 俊偉さんには、総社市の多文化共生施策の概要や、「総社ブラジリアンコミュニティ」での活動内容、相談員として抱えている悩みや課題などについて、話題提供をしていただきました。また参加した相談員同士で相談事例や悩みについての意見交換が行われ、解決策を各グループで考える研修を行いました。

この研修会には22名の相談員や行政職員の方が参加され、各参加者が相談員という専門性について再度認識することができたと思います。また2日間に渡り意見交換できたおかげもあり、相談員間のネットワーク構築という目的も十分な成果をあげることができたと思います。

今後はもっと多くの相談員の方にこの研修会に出席いただき、広島県の外国人相談窓口で活躍されている相談員の顔の見える関係のきっかけ作りに寄与していきたいと思います。(大藤)



こちら留学生活躍支援センターです ~県内の外国人留学生のみなさんの活躍を支援しています~

留学生活用セミナーを実施しました

12月3日(水), 外国人留学生の採用・定着を促進することを目的に「平成26年度第2回留学生活用セミナー」を開催しました。第1部では基調講演と先進事例報告, 第2部ではテーマ別に話題提供者を中心とした8グループによる意見交換会を実施いたしました。

当日は、当初の募集定員を大きく上回る86名の参加者で、大変盛況なセミナーとなりました。

関係者のみなさま、ご協力ありがとうございました。

★第1部

- 基調講演「日本企業の海外展開動向とグローバル人材」日本貿易振興機構（ジェトロ） 吾郷 伊都子 氏
- 事例発表「外国人留学生とインターンシップ」エバオン株式会社 谷口 慎吾 氏

★第2部（テーマ別分科会）グループ別テーマ（話題提供者）

- Aグループ：大学のグローバル化と留学生の受入れ（広島大学国際交流グループ 御担当）
- Bグループ：留学生の受入れと進路（広島修道大学国際センター 御担当）
- Cグループ：就労ビザの取得と課題（NPO法人ビザサポートセンター 御担当）
- Dグループ：理工系留学生の採用と定着（株式会社古川製作所 御担当）
- Eグループ：文科系留学生の採用と定着（株式会社メンテックワールド 御担当）
- Fグループ：イスラム圏留学生の採用と定着（三建産業株式会社 御担当）
- Gグループ：多様な留学生の採用と定着（ツネイシビジネスサービス株式会社 御担当）
- Hグループ：インターンシップの効果と課題（株式会社ロジコム 御担当）



外国人留学生のための就職実践セミナーを開催中です

日本で就職したいという留学生を対象とした就職活動実践セミナーを、広島・東広島・福山の3地域で開催しています。11月を初回に1月までの計3回のセミナーです。

このセミナーでは、「日本での就職活動方法」から「ビジネスマナー」「面接の実地訓練」など、就職活動のノウハウを習得します。

参加されている留学生のみなさん、希望する企業の内定獲得に向けて、がんばっていきましょう。



イベント情報 世界を「見る」「知る」「体験する」

参加
無料

2月28日土・3月1日日 11:00~15:00

【会場】ひろしま国際プラザ（東広島市鏡山三丁目3-1）

HIP最大規模のイベントを3年ぶりに開催します。地域の皆様に世界の現状、各国の文化や生活、国際協力等について知っていただくため、ワークショップや公開ディスカッション、簡単クッキング教室、世界の絵本展、歌や踊りのパフォーマンスなどを準備してお待ちしています。広島にいながら世界を学べるこのチャンスをお見逃しなく!!

【2011年の様子】



パネル展示&クイズラリー



JICA帰国队员の体験談



ワークショップ



イランの踊り



世界の楽器



民族衣装の試着

ワールドクッキング参加者の声

私にとって、月1回の教室は、日常生活で唯一異文化に接することができる貴重な時間です。

その国独特のスパイスの使い方や材料の組み合わせをはじめ、さまざまな料理方法から、食文化を通じてその国の人々の生活を垣間見ることができます。

講師の方々は、留学生やそのご家族ですが、通訳の方がいらっしゃるので細かなところまで質問でき、仲間のみなさんと談笑しながらの調理も楽しくすすみます。

出来上がった料理をいただきながら、講師のお人柄に触れ、遠い異国に思いを馳せることもあります。テレビや新聞などからは知ることの出来ない歴史やその国のしきたりを伺うのはとても興味深いものです。

教室から帰った晩は、家族とその国のことでの会話が弾みます。また最近は台所にもさまざまなスパイスが並ぶようになりました。

この教室をきっかけに、世界が身近な存在に、そしてますます生活が豊かになっていくように感じています。 堀向 久子



ワールドクッキングに参加される方を募集しております。

現在実施中の11月～3月（5回シリーズ）の教室は、火曜日コースと木曜日コースがあります。途中からでも受講ができますので、ご希望の方は、次ページの連絡先までご一報ください。（担当：植田）

「グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）」参加者の声



I am very happy to write about my stay experience in Hiroshima International Plaza (HIP). My name is Ahmed. I came from Egypt. I am studying in Hiroshima University as a Japanese government scholarship student (MEXT) in graduate school of advanced sciences of matter. My major is Molecular Biotechnology (cancer biotechnology). I stayed in HIP as a participant in Global Relations Program (GRP). Although I stayed only for two months, I really greatly enjoyed many events that were organized by HIP members. Living in HIP helped me build up social networks with many people staying in HIP. During my stay, I joined some events such as rice harvesting, MIYAJIMA tour and flowers gathering. These events were full of happy moments that engraved in my memory. Moreover, HIP has a lot of facilities that helps me enjoy my daily life. On time I said to myself "whatever you think, you will find here". Finally, I am greatly thankful for HIP members who are doing their best to help me.

Ahmed Gamal Kamel Habib 【エジプト】

私はGRPプログラムに参加して以来、国際理解を深めるために、広島市安佐南区の土砂災害の復興ボランティアなどの活動に参加しました。中国と日本の間に微妙な関係があります。しかし、災害で困っている人に国籍など関係なく、その前に人間であると考えました。人間として私は被災地を見て悲しくなることは当たり前でした。当初、神様は世界の人々を通じない言葉を話せるようにしましたが、何千年の努力で、われわれはある程度の交流をもたらすことが出来ています。何千年以降、世界人としてのすべての人間はバベルの塔を作て神様に挑戦できることを信じています。

杜 赫【中国】



このプログラムは、ひろしま国際プラザの宿泊施設に入居して、大学へ通いながら国際社会で活躍できる「実践力」を身に付けることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。

GRP参加者は、次のような特典を受けることができます。

- ・日本語の先生から日本語の学習支援を受けることができる。
- ・プラザで行われる日本文化体験に参加できる。
- ・イベントの手伝いや自主的な活動により、貴重な経験ができます。

詳しくは、ひろしま国際プラザのホームページをご覧ください。 <http://hiroshima-hip.or.jp/>

★お申込み・お問合せ先はこちら

公益財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

(電話 082-421-5900 FAX 082-421-5751)

・事務室開室時間 月～金 9:00～17:45

・情報センター・図書室開室時間（4月より開室時間が変わりました）
月～金10:30～12:30, 13:30～19:00 (12:30～13:30は一時閉室)
土10:30～19:00 ※毎週日曜日と年末年始はお休みします。

・NGO交流室 開室時間 月～土10:30～19:00

URL : <http://hiroshima-hip.or.jp>
E-mail : hicc@hiroshima-ic.or.jp (事務室)
hiccinfo@hiroshima-ic.or.jp (情報センター・図書室)



広島から世界へ！1月上旬より、広島県出身のJICAボランティア9名がルワンダ、ボリビア、ブータンなど8ヵ国へ向けて出発します！



《青年海外協力隊》（※左から氏名・派遣国・職種）

磯部 由美	セネガル	青少年活動
山田 悠加	ベリーズ	感染症・エイズ対策
山本 哲也	ルワンダ	コンピュータ技術
横田 菜月	ボリビア	手工芸
坂本 和枝	モルディブ	体育
三田 嵩	パプアニューギニア	コミュニティ開発

《シニア海外ボランティア》（※左から氏名・派遣国・職種）

宗永 幸雄	マレーシア	自動車整備
宗藤 伸一	ボリビア	自動車整備
亀井 且博	ブータン	衛生工学

現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	17	27	44
シニア海外ボランティア	4	1	5
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	0	0

平成26年10月31日時点

〈帰国隊員西谷 文さんの、スリランカ活動紹介です！〉

西谷 文さんプロフィール

- 尾道市出身。
- 5年間の社会人経験の後、2年間バックパッカーとして世界を旅しながらヨガのインストラクターの資格取得。
- 2012年10月から2年間青年海外協力隊「青少年活動」隊員としてスリランカで活動。

青年海外協力隊参加のきっかけは？？

東アフリカのウガンダで協力隊をしていた友人を訪ねた際、ウガンダ各地でボランティアをしていらした方々の活動や暮らしを見学し、興味が湧きました。

スリランカ人はどんな人？

笑顔が素敵で親日的な人たちが多いです。1日3食カレーを手で食べて、ティータイムも欠かしません。

スリランカの魅力「アーユルヴェーダ」とは？？

スリランカは北海道の0.8倍ほどの国土に世界遺産が8箇所あり、綺麗な海と山、セイロンティーで有名な紅茶畑、トロピカルフルーツなど様々な魅力があります。バナナやパパイヤやマンゴーなどは各家庭の庭に生っていて、マンゴーが家の屋根に落っこちてくる音がうるさいくらいです。そんな魅力的な国スリランカで、最も興味深かったのが『アーユルヴェーダ』です。アーユルヴェーダとは、何千年も昔にインドから伝わり、食生活に制限をかけ、自然から採れるハーブやオイルを利用し、体を浄化させ、体质改善をすることで病気になりにくい心と体を作っていくという伝統療法だそうです。行政にはアーユルヴェーダ省もあり、大臣もいます。国立のアーユルヴェーダ病院もあり、無料で受診できるので、農村部を中心に国民の約75%が利用しています。

スリランカの人たちは、虫刺されや切り傷には庭で採れる葉っぱをすりつぶしたものを塗ります。私の家の大家さんは、葉草とオイルを染み込ませたお米をガゼに丸く包んだもので、打撲した足をパッティングしていました。下の階に住んでいる奥さんは、毎日何かの花の汁を老眼予防の為だと言って点眼していました。

これらの処方が科学的にどこまで証明されているかは疑問でしたが、ヨガをする私にとっては、自然の葉草や木、ハーブや天然のオイルを使う医療はとても興味深くて魅力的でした。

スリランカ民主社会主义共和国

通称スリランカは、南アジアのインド亜大陸（インド半島）の南東に、ポーク海峡を隔てて位置する共和制国家。

【概要】

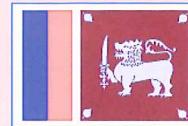
面積：6万5,607km²（北海道の0.8倍）

人口：約2,048万人（2013年）

首都：スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ

公用語：シンハラ語、タミル語

連絡語（シンハラ人とタミル人をつなぐ言葉）：英語



手話で歌をうたおう！

スリランカでの活動内容は？

青少年活動隊員として村落部に配属となり、地域に根ざした障がい者支援体制を残すため、青少年を対象に障がいに対する理解を深める活動を行っていました。学校の放課後の時間を利用し、障がいについてや、障がい者支援について啓発する授業を実施しました。



アーユルヴェーダ作り

青年海外協力隊に参加して思うこと

一言で表すと、「行って良かった！」です。スリランカでの2年間は終わってみるとあっという間でしたが、とても濃い2年間でした。異文化の中で困難なことに直面したときに、助けてくださった現地の人たちや日本で支えてくださった方たちへの感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。



みんなで折り鶴をつくったよ

【JICA中国＆広島JICAデスクFacebookのご案内】

JICA中国が行う活動の紹介、イベントのご案内など
旬な話題をお届けしている

JICA中国Facebook
QRコードはこちら→



広島に密着したJICAの活動情報をお届けしている

広島JICAデスク
Facebook
QRコードはこちら→



「いいね！」
をよろしく
お願いします！

サミット加盟団体だより ふくやま国際交流協会 FAGE

「ふくやま国際交流協会」は、国際交流事業を通じ、地域の国際化を図るとともに、国際理解の増進に貢献することを目的として活動しています。1990年に設立され、今年は25周年を迎えます。今後もさらに事業内容を充実させ、会員の皆様をはじめイベント参加者により満足していただけるよう企画していきます。



気軽に国際交流したい人！

外国語でディスカッションをしてみたい人！

外国籍の人の日本語学習支援ボランティアをしたい人！

●ふくやま国際交流協会の活動内容

- 英語、韓国語、中国語会話サロン(会員対象)

毎回、各国の文化・習慣など身近なテーマを題材に、
参加者みんなで楽しく外国語で話します。

・月1回のイベント開催

異文化理解講座、国際料理教室だけでなく、スポーツ大会やハイキングなど幅広くイベントを実施しています。

昨年9月に開催した「鞆の浦日本文化体験ツアー(写真一番上)」では人気観光地・鞆の浦を散策し、琴・尺八の生演奏を聴きながら、和菓子作り体験等を行いました。参加者からは「色々な体験ができる、本当に良い一日だった。」と感想をいただきました。



・日本語支援、ボランティア制度

多文化共生に向けて、近隣に暮らす外国籍の人どのようにコミュニケーションをとればよいかを考え学ぶ機会を提供しています。

また、イベントアシスタント、ホームステイ受け入れ、日本語ワンペアレッスンなどのボランティアを募集しています。



●今後のイベント(予定)

2015/1/18

異文化理解講座(韓国・浦項市の紹介)

2015/1/31, 2/1

第6回フレンドリーピック まつながカープ・デー



お問い合わせ先 ふくやま国際交流協会

福山市東桜町3番5号 福山市役所市民相談課内

電話: 084-928-1002

E-mail: kokusai@city.fukuyama.hiroshima.jp

ホームページ: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fage/>

フェイスブックも開設しています！



Upcoming Events News No.131

平成27(2015)年1月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせください。

日	内 容
18日 (日)	<p>「1月講演会」広島県国際交流協会</p> <p>日 時 1月18日(日) 14:00~ 場 所 ラウンジ(尾道市久保3-14-18) 問合先 広島県国際交流協会(松浦) 電 話 (0848)37-3518 URL http://www.geocities.jp/matsuuras2000/</p>

平成27(2015)年2月分

日	内 容
15日 (日)	<p>「第7回 テトを祝う日」広島ベトナム平和友好協会(HVPF)</p> <p>日 時 2月15日(日) 9:00~16:00 第1部 9:00~11:30 ベトナム料理、日本料理の調理体験 ベトナム、日本の伝統的な遊びなどの体験 第2部 12:30~16:00 「テト」祝賀会 ※ベトナム料理を楽しみながら 文化交流(歌・踊り), ゲームetc.</p> <p>場 所 未定(検討中) 参加費 [一般] 2,500円 [学生] 1,500円 [ベトナム人] 500円 定 員 120名 問合先 広島ベトナム平和友好協会(赤木) 電 話 090-1010-0472 メール akagi@mbox.co.jp</p>
22日 (日)	<p>「第23回 外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」ふくやま国際交流協会</p> <p>広島県東部在住の外国留学生による日本語スピーチコンテストを実施します。 留学生の視点から、日本の文化や留学生活などについて発表します。また、コンテストを通じ、地域のみなさんとの国際交流を深めます。 スピーチコンテストは入場無料です。また、コンテスト終了後には出場者との交流会を行います。誰でも参加できます。</p> <p>日 時 2月22日(日) 13:30~18:00 第1部 13:30~16:00 外国人留学生による日本語スピーチコンテスト 第2部 16:30~18:00 交流会(参加費1,000円・要予約)</p> <p>場 所 福山市立大学 主 催 外国人留学生を支援する会、ふくやま国際交流協会 参加費 無料(交流会1,000円・要予約) 定 員 300名 問合先 福山YMCA事務局(佐藤) 電 話 (084)926-2211 (福山YMCA代表) メール t-sato@hiroshimaymca.org</p>



My Monday Tradition: Part I

Trevor J. Swan

Everyone needs at least one store (restaurant/café/lounge/bar) they can feel at home in¹. When you live far away from home—especially when you live in a society different from the one grew up in—it is perfectly normal to find yourself desiring a sense of normalcy. And going to a café/bar regularly can give you that.

After thinking deeply on the subject for about three minutes, I have determined the definitive criteria for such a place:

- 1) It should have an awesome owner & staff;
- 2) It should have an atmosphere you can relax in;
- 3) It needs to be a place that you should want to take time to go to; &
- 4) It should be a place that you feel compelled to tell your friends about, even if you don't gain anything from it.
- 5) Great people you can talk with.

With these definite criteria, I then took on the Herculean task of recalling a place that fit these criteria. However, before I mention the place, let me provide some context on how I found out about it.

A year ago², during a year that had the numbers twenty and thirteen in it, I agreed to help, a woman who was working on a magazine project. She asked me to join an event at a local café—where Japanese residents would speak to foreign residents about various topics. I said sure in advance—because I thought I had the time—but I was wrong... and unfortunately had to cancel.

However, when she mentioned the venue, she showed me the store's website and some pictures. And it looked like a pretty chill place. So after taking some time to think—a few months—I actually decided to go. After I went the first time, I knew... that I was convinced that I would probably visit again sometime in the near future, maybe. But really, the owner and staff were great. They had enthusiasm for learning about other cultures and shared that knowledge with others; and are currently working to become a mini hub for international exchange locally. Eventually I became a regular customer on Monday evenings. Their English café gathering was also a bit of a motivator. The owners thought up a brilliant plan that involved giving foreign nationals free food (up to a certain limit) in exchange for having them speak to her Japanese customers. So that when Japanese customers go in to practice English (at a low price), there will always be a hungry international ready to talk with them. So I did what anyone who found a gem like this would do... I shared. I told various people, friends (Japanese and international) about the good deal that was this store. Japanese friends could go to have a place to practice their English three days a week with native speakers, and English speaking friends could have a place to go to the same number of days to meet new people had get some decent meals for free every once in a while.

Everyone who goes there loves to share things about their cultures with others. It is not simply a store that attracts people who want to contribute to international exchange. It is a store with great goals, staff and an atmosphere that encourages a cool crowd to visit³.

Not that long ago, I got two friends to join me in going the café regularly on Mondays. Immediately following the visit with the three of us, one of my friends introduced us to a store she felt at home in. And while there's more to the story like a greater point, I'll have to leave that for a different issue.

¹ Now before you stop reading and say that this is just me spouting nonsense that is the culmination of years of brainwashing due to being brought up in a commercialized society—in response to which I could only say “good point”— hear me out.

² When you're in a foreign country time passes differently. So much can change in a year in expatriate time.

³ If you would like more info feel free to email me at hic05@hiroshima-ic.or.jp

Hirosshima Calendar

Date	Event	Location(s)
January Mid-January	<u>Tondo Festival</u> <i>New Year's decorations & kakizome (new year's calligraphy) will be set ablaze. It is said that you will stay healthy if you eat cakes baked in a Tondo (a sort of new year's bonfire).</i>	Various locations in Hiroshima
February 3 6~8	Are you up for skiing or snowboarding on silvery white plains? Hiroshima is considered to be a warm place (as it faces the Seto Inland Sea); however, the northern region is home to many ski lodges. “Setsubun” <i>People will toss beans while chanting, “Oni wa soto (ogres are outside), fuku wa uchi (fortune is inside)” in order to wish for good health.</i> <u>Mihara “Shin-Mei- Ichi”</u> <i>You can see numerous daruma being sold as good luck charms in this unique festival. Various street stalls line up & the massive crowds of people make them very lively.</i>	Mihara-city
Jan. - Feb.	<u>Oyster Festivals</u> <i>Ask if there are any Oyster Festivals in your area; if you live close to ocean!</i>	Held across the Prefecture – ask about any “Kaki Matsuri” in your area!
Feb. - Mar.	<u>Hina-Meguri</u> <i>Hina dolls will be used to decorate various locations—that have preserved their historical landscapes (private homes, stores, facilities, etc.) prior to and following the seasonal peach festival on March 3rd.</i>	Miyajima Takehara-city Tomonoura

Note from the Editor:

During the next few months there will be a variety of winter and New Year's events.

Enjoy the region's unique New Year's traditions with the Tondo Festival. Have an actual good time in the cold weather by *skiing* in the north. Maybe you want to keep up your health? Then you can join in the *Setsubun* festivities. There are numerous festivals and activities for you to join in this New Year so please take the chance to experience them if you have the time.

If you have any questions, input, etc., feel free to send me email @ hic05@hiroshima-ic.or.jp and I will get back to you as soon as possible.

HIC交流部
からの
お知らせ

カレンダーの
無料配布

ひろしま国際センターでは、関係団体や企業の皆様からご寄贈いただいたカレンダーや手帳でお分けできるものを無料で提供しています。外国人住民の皆様をはじめ、ご友人・知人等にこれらを必要とされる方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

時 期 :	1月上旬～下旬まで（予定）	*なくなり次第終了します。
場 所 :	ひろしま国際センター（下の地図をご参照ください。）	
方 法 :	ご来館の上、お好きなものを選んでお持ち帰りください。	

お問い合わせは下の連絡先まで

H 翁島
ひろしま国際センター
HIROSHIMA INTERNATIONAL CENTER

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL : (082)541-3777 FAX : (082)243-2001

URL <http://hiroshima-ic.or.jp/>
E-mail:hic@hiroshima-ic.or.jp

